

旭化成グループの新型コロナウイルスに関する取り組みについて

旭化成グループは「世界の人びとの“いのち”と“くらし”に貢献する」をグループ理念に掲げ、「健康で快適な生活」の観点から、「持続可能な社会への貢献」ならびに SDGs（Sustainable Development Goals）実現への貢献を目指しています。

現在の世界的な新型コロナウイルス感染拡大は、“いのち”と“くらし”を脅かす、大きな課題であり、新型コロナウイルス対策は当社グループにとって最優先で取り組むべき事項です。

当社グループは、事業に関わる人びとの安全に十分な注意を払いつつ、社会で必要とされる製品・サービスを安定的に供給することで、社会のニーズに応え続けられるよう努めてまいります。

「ヘルスケア」事業での供給責任の遂行

旭化成グループでは医薬品(整形、免疫、救命救急用途など)、医療機器(血液浄化用途、救命救急用途、血漿分画製剤製造用途など)などの「ヘルスケア」事業を展開しています。これらは、既存疾患の患者様の健康の回復や QOL を高める上で必須のものであり、製品によっては、供給途絶によって、患者様の生命に関わるものもあります。また、いくつかの製品では、新型コロナの罹患予防や罹患者のケアにおける役割も期待されています。従って、当社グループでは「ヘルスケア」事業での供給責任の遂行を最優先課題としています。

「ヘルスケア」事業以外での供給責任の遂行

旭化成グループは「マテリアル」（基礎化学品、繊維素材、衛生素材、消費財など）事業や「住宅」事業において幅広い製品・サービスを展開し、さまざまな生活シーンでご利用いただいています。みなさまが「健康で快適な生活」をお送りできるよう、当社グループはサプライチェーンの関係者様と協力しながら、従来と変わらぬ製品・サービスの供給に努めてまいります。

事業活動の継続

供給責任の遂行のためには、滞りない事業活動が必要です。当社グループは、世界各国の事業所での感染防止のため、各地の法令や指導に沿うことはもとより、従業員の在宅勤務や健康観察、感染防止策の徹底などにより、事業活動継続に努めています。

旭化成グループは、中期経営計画で目指す“Care for People、Care for Earth(人と地球の未来を想う)”を念頭に、多様な技術と人財を生かし、社会的責任を果たしてまいります。

以上

旭化成株式会社
代表取締役社長 小堀 秀毅